

PALUDARIUM FULLSYSTEM PRO 600

パルダリウムフルシステム PRO 600

使用説明書

日本語

ご使用になる前に

●本製品を使用する前に、必ずこの説明書をよく読み、正しい使用方法を理解した上で使用してください。正しい使用方法がわからない状況では、絶対に使用しないでください。●この説明書は、読み終わった後も大切に保管し、必要な時にお読みください。●水槽の表面や接合部のシリコンに破損や劣化がないことを必ず確認した上で使用してください。初期不良の多くは使用前の確認によって発見でき、水漏れなどのトラブルが回避できます。●シリコンの中の気泡は、強度上問題ありません。●本製品は、パルダリウム水槽として使用する上で十分な強度を有しますが、ガラス製のため衝撃や歪みには弱い特性があります。必ず、以下の取り扱い上の注意点を守って使用してください。取り扱い上の注意を守らずに、お客様の取り扱い上の問題で製品の破損や事故が起きた場合、弊社は一切の責任を負いません。また製品の仕様は予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。なお、最新の情報は弊社ホームページにてご確認ください。

取扱い上の注意

※必ずよくお読みください。

- 本製品は、専用水槽台に設置してください。また、設置前には、必ず水平器を使って水槽設置場所に歪みや傾きがないことを確認してください。水槽の割れは、おもに設置場所や水槽台の歪みや傾きなど設置上の問題が原因です。水槽の割れに関しては、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- より安全に使用するために、必ず付属の専用マットを使用してください。
- 机や靴箱、サイドボード、カラーボックス、オーディオラックなどを始めたした家具の上には、絶対に設置しないでください。また、床に直接水槽を設置したり、床に敷いた板の上に水槽を設置することも絶対にやめてください。
- 弊社専用水槽台を使用しても、以下の場所には設置できません。
畳敷きやカーペット敷きの部屋（板などを敷いても設置できません）／振動が生じやすい場所（例：家屋の2階などは建築構造上不適切と見なされる場合があります）／直射日光の当る場所、湿度が極端に高い場所や低い場所、屋外など（シリコンの劣化が激しく、水槽の寿命が短くなります）／冷暖房器具の近くなど温度変化の大きな場所／家電製品の近く（水滴がかかると感電する恐れがあります）／子供の手の届く場所（水槽を倒したり、衝撃を与えて水槽を割る恐れがあります）
- 破損の原因となるので、水槽を乱暴に扱ったり、水槽に振動や衝撃を与えないようにしてください。
- 水槽を運ぶ場合は、空の状態でも必ず水槽の底部を持ってください。樹脂パーツを持つと破損の原因となります。
- 専用水槽台を移動する際は、天板を持たず、必ず底面部分を持ってください。天板は接着構造のため持ち上げると剥離や破損の原因となります。
- 水槽に水やソイルなどが入った状態では、絶対に水槽を移動しないでください。
- 水槽を置く際は、水槽の下（水槽台の上など）に砂利などの異物がないことを確認してください。水槽の下に砂利などが一粒でもあると、水槽が割れる原因となります。
- 40℃以上の熱湯は、絶対に水槽に入れないでください。温度の急変によりガラスが割れる恐れがあります。
- 水槽を洗剤で洗ったり、有機溶剤やアルコールを付けて拭いたりしないでください。シリコンやアクリルが劣化する恐れがあります。水槽の汚れは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 専用水槽台の塗装面にテープ類を貼り付けたり、アルコールなどの溶剤を付着させないでください。塗装の劣化や剥がれの原因となります。
- 水槽のメンテナンスなどの際に、砂利などでガラスに傷を付けないように注意してください。また、アクリル製の三角定規や金属製のスクレーパーなどで、接合部のシリコンに傷を付けないように十分に注意してください。
- 染色系の薬品は、シリコンが劣化する原因となりますので使用しないでください。
- 水槽の改造は絶対にしないでください。
- 接合部のシリコンが劣化したり剥離した状態では、絶対に使用しないでください。
- 底床素材にはDOOAシリーズのジャングルソイル（別売）およびジャングルベース（別売）、ジャングルボトムの使用をおすすめします。ジャングルボトムは1L×5が付属しており、排水性を高め底部に水が溜まりにくい環境を作ります。
- サーキュレーションファン 40の取り付け方や使用条件によっては、ガラス扉の隙間から水滴が漏れることがあります。隙間が気になる場合は市販のU字シリコンをご使用ください。
- 子どもの手の届かない場所で使用および保管してください。

保証について（水槽本体）

パルダリウムフルシステム PRO 600は、接合部のシリコンの強度に関して3年間の品質保証を行っています。これは、水槽ご購入日から3年間、説明書に従って正しく使用していたにも関わらず、シリコンが剥離して水漏れが発生した場合に限り代品交換などの補償を行うものです。ガラスの割れによる水漏れに関しては、一切の補償を行いません。また、シリコンの剥離による水漏れでも、以下のような場合にはお客様の使用上の問題となり、一切の補償を行いませんので、あらかじめご了承ください。

- 水槽台がわずかも歪んだり、傾いている場合。
長期間にわたって接合部に負荷が掛かり、シリコンが剥離することがあります。設置時には水槽台に歪みや傾きがなくても、長期間使用していると床が沈み、水槽台に歪みや傾きが発生することがあります。水槽台は、必ず水平で十分な強度の床の上に置き、水槽を置く面が必ず水平になるようにアジャスターなどで調節してください。
- 水槽から水を抜き、乾燥させた期間がある場合。
シリコンの強度は、連続した使用で3年間の品質保証となっています。湿った状態と乾いた状態を繰り返すとシリコンの劣化が早まるため、水を抜いて使用しない期間があった場合、たとえ使用している期間の合計が3年に満たなくても品質保証は適用されません。
- 直射日光の当る場所や屋外に置いた場合。
水槽を直射日光の当る場所や屋外に置いておいた場合には、紫外線の影響でシリコンの劣化が早まります。室内でも直射日光が当たらないように注意してください。また、使用していない時も、水槽は絶対に屋外に置かないようにしてください。
- 水槽に薬品を入れた場合や水質が極端に変化した場合。
水槽に薬品を入れると、シリコンの劣化が早まります。特にシリコンを着色するような染色系の薬品を使用した場合には、シリコンが硬化して剥離しやすくなりますので注意してください。また、水質が極端に酸性やアルカリ性に偏った場合、シリコンの劣化が早まります。常識的に観賞魚や水草が育成可能な水質で使用してください。
- 温度や湿度の変化が大きい場所で使用した場合。
冷暖房器具の近くなど温度変化の大きな場所、洗面所や加湿器、除湿器を使用していて湿度が大きく変化する場所などに水槽を置くとシリコンの劣化が早まります。
- 使用後のガラスのキズ、カケは保証の対象にはなりませんので、よくご確認のうえ使用開始してください。

保証について（電気製品）

本製品に付属する電気製品（ポンプ、照明、ACアダプター、電源関連機器など）は、それぞれの製品に付属する保証書の内容および保証期間に準じます。なお、本製品に含まれる付属品は構成により異なりますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先: ADAサービスセンター
E-mail/support@adana.co.jp

aqua design amano co., ltd.
8554-1 Urushiyama, Nishikan-ku, Niigata 953-0054, Japan
発売元: 株式会社アクアデザインアマンノ
新潟県新潟市西蒲区漆山8554-1 〒953-0054
MADE IN CHINA 451501S14COPYJEC26H31



保証書

- ご購入の際には必ず、ご購入年月日、販売店名の記入、捺印を確認していただき、大切に保管しておいてください。記入漏れがあった場合には、ただちにご購入店にお申し出ください。ご購入年月日、販売店名を訂正された場合は原則として本保証書は無効となります。
- 本保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本保証書は、記載されている保証規定により対象製品を保証するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではございません。ご不明な点がございましたら説明書に記載されているADAサービスセンターまでご連絡ください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

*PALUDARIUM FULLSYSTEM PRO 600 is marketed outside Japan through ADA overseas distributors. For details on the limited warranty, please consult with your local ADA distributors.

※ 製品名	パルダリウムフルシステム PRO 600				※ 販売店	住所 店名 TEL. (印)
※ お客様	ご住所 〒 TEL.					
	お名前		※ ご購入年月日		保証期間	ご購入日より 付属ポンプは1年間 水槽本体は3年間有効
点検・修理内容					年 月 日 検印	

※販売店様へ お手数ですが必要事項をご記入の上、捺印してお客様にお渡しく下さい。

保証規定

1. 保証の内容

弊社専用水槽台を併用して設置しており、かつ使用状況が説明書の記載条件を満たしている場合について保証の対象とさせていただきます。お買い上げ後水槽本体は3年以内、付属ポンプは1年以内に、説明書に添った正常なご使用方法で万一故障した場合には無料で修理いたします。この保証書を添えてお買い上げ店にお届けください。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用はお客様にてご負担願います。本保証書はお買い上げいただいた製品を保証するもので、それ以外の付帯する器具や飼育している生体を保証するものではありません。

2. 次の場合は保証期間中でも上記1の保証規定は適用されません。

- (修理可能な場合は有料で修理をお引き受けいたします)
 - ・火災、地震および風水害などの天災による損傷、故障。・誤ったご使用や、お取り扱い上の不注意による故障または損傷。・弊社サービスセンター以外で分解、修理、改造されたもの。
 - ・保管上の不備、お手入れの不備により生じた故障。・飼育生物による故障もしくは損傷。・可動・回転部分の消耗・磨耗による不具合。・設置場所が建築構造上不適切と見なされる場合。
 - ・本保証書に販売店名およびご購入年月日の記載がない、もしくは訂正した場合。・修理ご依頼の際、本保証書の提示または添付のない場合。

3. 本製品の故障に起因する付随的損害（作業に要した諸費用、作業によって得てであろう利益の喪失、精神的な損害など）の補償は応じかねます。

1. パルダリウムフルシステムPRO 600の特長

パルダリウムフルシステムPRO 600は、ADAが独自に開発した、パルダリウムを本格的に楽しむためのフルオートシステム水槽です。多湿な環境を好む熱帯雨林植物を、より安定した最適な環境で育成することができます。本製品は、排水をろ過する4段ろ過ボックス、水質を整える3連フィルター、散水を行うDOOA スプレーポンプ、各機能を統合制御する電源ボックスで構成されており、水の浄化から供給、育成環境の制御までを一体化したシステムとなっています。不純物を処理した水の散水により、ガラス面への水シミの発生を抑制し、清潔で美しい景観を長期間維持することが可能です。また、時間の経過とともに水槽底部に溜まる水は底面排水構造によって適切に排出されます。スライド式の正面ガラス扉は高い密閉性を確保し、湿度を保ちやすく、温度変化の影響を受けにくい構造です。パルダライトII600やサーキュレーションファン 40、市販のスマートプラグと組み合わせることで、照明・風・湿度を連動して制御し、それぞれの植物に適した多様な育成環境を作り出すことができます。

2. 各部の構成と役割

① 4段ろ過ボックス: 排水を4層のろ過メディアでろ過し、不純物を除去します。水槽底部に溜まった水を循環・処理することで、清潔な環境を保ちます。

② 3連フィルター : 3つのフィルターカートリッジにより水質を整え、不純物を処理した水を安定して供給します。これにより、ガラス面への水シミの発生を抑制します。

③ ポンプボックス: 2機のDOOAスプレーポンプを搭載し、それぞれ異なる役割を担うことで、安定した水循環と散水を実現します。1台目のDOOA スプレーポンプは、ろ過水を3連フィルターへ送り、強制的に不純物を取り除く循環ポンプとして機能します。もう1台のDOOA スプレーポンプは、3連フィルターで処理された水をパルダリウム水槽内へ散水し、熱帯雨林植物が好む高湿度環境を再現します。不純物を処理した水を使用することで、ガラス面の水シミの発生を抑制します。
※水道水の硬度が100mg/L以上の場合や、化粧砂など使用する素材によっては、多少水シミが発生することがあります。

④ 電源ボックス: 市販のスマートプラグに対応。各部を連動させ、照明・ファン・散水を制御します。なお、初回生産分にはパワーコードS-70が付属します。
※ポンプボックスおよび電源ボックスは樹脂製固定ネジで固定されており、配管作業やメンテナンス時には、位置調整が可能です。

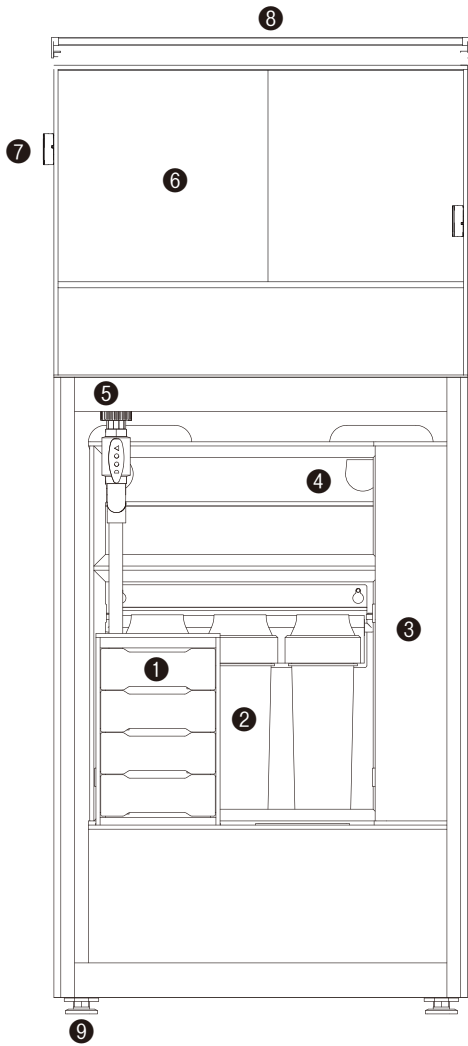
⑤ 底面排水: 時間の経過とともに水槽底部に溜まる水を適切に排出します。

⑥ スライド式ガラス: 密閉性が高く、湿度を保ちやすい構造です。温度変化の影響を受けにくく、散水による湿潤環境や霧の持続時間を延ばします。また、害虫の侵入や水滴の飛散を防ぐ効果があります。

⑦ サーキュレーションファン 40: 植物の生態に合わせて水槽内の空気循環や湿度調整を行うことができます。

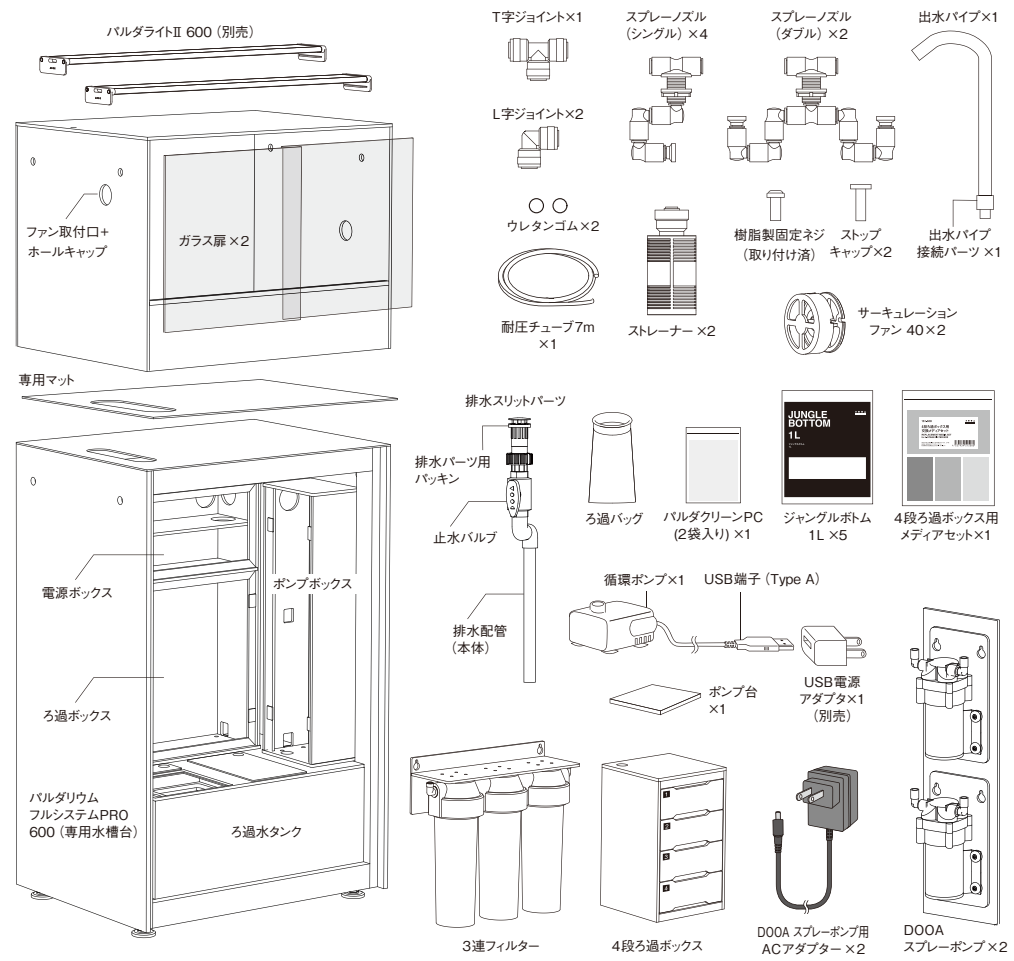
⑧ 照明器具との組み合わせ: パルダライトII600(別売)やアクアスカイRGBII600(別売)のパルダリウムモードと組み合わせることで、熱帯雨林植物特有の発色を楽しむことができます。より均一な照明環境を得るため、パルダライトII600を2台使用することを推奨します。

⑨ 専用水槽台: 4箇所に水平調整用のアジャスターを備え、設置時の傾きや歪みを調整することができます。



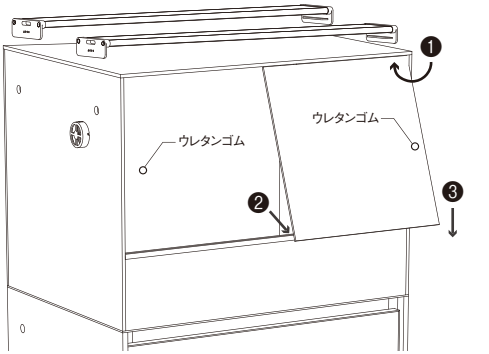
3.バルダリウムフルシステムPRO 600 各部名称

※セットする前に、すべてのパーツが入っているか必ず確認してください。



4.バルダリウムフルシステムPRO 600 組み立て方法

ガラス扉は2枚使用します。左右それぞれに取り付けてください。
①ガラス扉を上部のレールに差し込みます。
②扉を持ち上げながら下側を内側へ入れ、下部のレールの位置に合わせます。
③扉をゆっくり下ろし、上下のレールに正しく掛かっていることを確認してください。
④付属のウレタンゴムを右図を参考にガラス扉に貼り付けてください。ガラス扉の開閉時の指掛かりとして使用できます。
※ガラス扉を取り外す際は、逆の手順で行ってください。
※下部のレールにはアクリルロッドが組み込まれており、取り外しが可能です。取り外して清掃することで、レール部分を清潔に保つことができます。



※スプレーノズルの接続方法については、図を参考に正しく取り付けてください。スプレーノズルは、水槽内に設けられた最大4箇所を設置します。植物にまんべんなく水分補給が行えるよう、適切な向きや角度に調節してください。

【8】サーキュレーションファン 40の設置：水槽左右にあるホールキャップを取り外してください。サーキュレーションファン 40を外側から取り付け、必ず固定パーツをはめ込んだ状態で使用してください。散水より1分長く作動させることで、湿気が水槽内に滞留するのを防ぎ、ガラス面の結露を抑制する効果も期待できます。サーキュレーションファン 40は、外側(吸気用)・内側(排気用)と設置する向きを変えることで、水槽内の湿度を調整することができます。

【9】配管パーツの接続：付属の耐圧チューブを必要な長さにカットし、以下の手順で配管してください。各チューブフィッティングには、耐圧チューブを奥まで確実に差し込んでください。
■ DOOA スプレーポンプ①(循環・処理水用) と3連フィルターの接続
①ストレーナー①と、DOOA スプレーポンプ①の IN 側を耐圧チューブで接続します。
※ストレーナー①はろ過タンク①に設置してください。
②DOOA スプレーポンプ①の OUT 側と、3連フィルターの IN 側を耐圧チューブで接続します。
③3連フィルターの OUT 側に耐圧チューブを接続し、耐圧チューブの先端から出水される浄水がろ過タンク②に入るように向きを調節してください。
■ DOOAスプレーポンプ②(散水用) とスプレーノズルの接続
④ストレーナー②と、DOOA スプレーポンプ②の IN 側を耐圧チューブで接続します。
※ストレーナー②はろ過タンク②に設置してください。
⑤DOOA スプレーポンプ②の OUT 側と、スプレーノズル(最大4箇所)を耐圧チューブで接続します。
※配管後、耐圧チューブの抜けや折れがないか必ず確認してください。
※詳しい配管方法については、DOOAスプレーポンプの取扱説明書もあわせてご確認ください。

専用水槽内で使用する耐圧チューブ	
使用箇所	長さ(mm)
①ろ過タンク①からの吸水～スプレーポンプ①IN 側(循環・処理用)	1000
②スプレーポンプ①OUT 側～3連フィルター IN 側へ	950
③3連フィルター OUT 側～ろ過タンク②へ	700
④ろ過タンク②からの吸水～スプレーポンプ②IN 側(散水用)	850
⑤スプレーポンプ OUT 側②～専用水槽台内～T 字ジョイントへ	300

水槽本体で使用する耐圧チューブ	
使用箇所	長さ(mm)
⑥(専用水槽台内)T 字ジョイント～水槽右側奥 L 字ジョイント	630
⑦水槽右側奥 L 字ジョイント～水槽右側奥スプレーノズルへ	40
⑧水槽右側奥スプレーノズル～水槽右側手前スプレーノズルへ	300
⑨(専用水槽台内)T 字ジョイント～水槽左側奥 L 字ジョイント	1100
⑩水槽左側奥 L 字ジョイント～水槽左側奥スプレーノズルへ	40
⑪水槽左側奥スプレーノズル～水槽左側手前スプレーノズルへ	300

※記載寸法は目安です。設置状況に応じて長さを調整してください。余った耐圧チューブは予備として保管してください。
※耐圧チューブはカッターなどを使って、切断面が歪んだ状態や斜めにならないようにカットしてください。水漏れの原因となることがあります。

【10】循環ポンプの設置・起動：循環ポンプは、ろ過タンク①内の水を循環させるための常時作動ポンプです。ポンプ台に循環ポンプを固定し、図を参考に正しく設置してください。循環ポンプに接続パーツを用い出水パイプを取り付け、出水口からの水がろ過バッグ内へ落ちるように設置してください。また、ろ過バッグ内には付属のバルダクリーンPC を2袋入れて使用してください。設置後、ろ過タンク①に循環ポンプが十分に水に浸るまで注水し、循環ポンプを起動してください。約30分を目安に水を循環させ、軟水化を進めてください。ろ過タンク①内の水位が低下すると空回りの原因となるため、定期的に水位を確認し、必要に応じて水を補充してください。

5. バルダリウムフルシステムPRO 600使用方法

【レイアウトを楽しむ前に】必ず試運転を行ってください。レイアウト作業に入る前に、以下の機器を市販のスマートプラグに接続し、【17】育成環境を整える」の管理タイムライン例を参考に、それぞれ設定した作動時間で最低24時間以上試運転を行ってください。
●DOOA スプレーポンプ①(循環・処理水用) ※3連ROフィルターへ接続 ●DOOA スプレーポンプ②(散水用)
●サーキュレーションファン 40(吸気・排気) ●循環ポンプ ●バルダライトII 600(別売)または アクアスカイRGB II 600(別売)
試運転では、散水の発生状況、水槽底部の水の溜まり具合などを確認してください。もし想定と異なる場合は、作動時間などを再度調整してください。また作動時間の設定やサーキュレーションファン 40の設置場所・向きによって、水槽内の湿度環境や水槽底部の水の溜まり具合は大きく変化します。

【各パーツの設置手順】
※以下の手順に従って、各パーツを設置してください。

【1】専用水槽台の設置：専用水槽台を、水平で十分な強度のある場所に設置してください。また、本製品に必要な電源を確保できるよう、コンセント(差し込み口)の位置も事前に確認してください。
【2】水平調整：専用水槽台の4箇所にあるアジャスターを調整し、水平器を使用して天板が水平になるよう調整してください。
※水槽の破損や水漏れ防止のため、必ず水平を確認してください。

【3】専用マットの設置：専用水槽台の天板に、付属の専用マットを敷いてください。

【4】水槽の設置：専用マットの上に、水槽を静かに設置してください。 ※設置面に砂利などの異物がないことを必ず確認してください。

【5】ガラス扉の取り付け：付属のガラス扉2枚を、組み立て方法の図を参考に、上下のレールに正しく取り付けてください。取り付け後、付属のウレタンゴムをガラス扉に貼り付けてください。

【6】3連フィルターの設置：3連フィルターは、以下のフィルターカートリッジを組み込んだ状態で出荷しています。使用前に、DIフィルターの外装を取り外し、各フィルターカートリッジを事前に軽くすすいってください。また、クリアハウジングがしっかりと締まっていることを確認し、緩んでいる場合はハウジングレンチを用いてしっかりと締めてください。
・フィルターカートリッジ①：PFカーボンフィルター
・フィルターカートリッジ②：DIフィルター
・フィルターカートリッジ③：0.1μmメンブレンフィルター
※フィルターカートリッジは、1か月に1回を目安に交換してください。レイアウトや使用素材によっては、交換時期が延びる場合があります。

【7】DOOAスプレーポンプ①・②、スプレーノズルの設置
※DOOAスプレーポンプ①・②は、ポンプボックスの壁面に、取り付け済の樹脂製固定ネジを利用してしっかりと固定してください。配管を行いやすくなるため、DOOAスプレーポンプ①は下側、DOOAスプレーポンプ②は上側に固定することを推奨します。
※DOOAスプレーポンプ①・②は同一仕様のポンプです。本説明では機能ごとに①(循環・処理水用)、②(散水用)と表記しています。
※設置の際は、DOOAスプレーポンプ本体やポンプ台をろ過槽内に落下させないよう、十分ご注意ください。落下は、キズ・カケ・割れの原因となります。DOOAスプレーポンプ①は、4段ろ過ボックスでろ過された水を3連フィルターへ圧送し、強制的に不純物ろ過を行う循環・処理水用ポンプです。DOOAスプレーポンプ②と連動することでバルダリウム内の水循環を安定させます。DOOAスプレーポンプ②は、3連フィルターで処理された水を水槽内へ散水するためのポンプです。適切に作動させることで、植物に必要な水分を供給し、安定した湿度環境を維持することができます。

※ポンプの空回りは絶対にしないでください。故障の原因となります。起動後は、正常に作動しているか、異音や振動、水漏れなどの異常がないことを必ず確認してください。異常が見られた場合は、すぐに電源を切り、接続や設置状態を確認してください。原因が特定できない場合は使用を中止してください。

【11】排水配管パーツの設置：水槽底面の左前に設けられた排水用の穴に、付属の排水配管パーツを組み込んでください。取り付けの際は、排水パーツ用パッキンを忘れずに正しく取り付けてください。パッキンが正しく取り付けられていない場合、水漏れの原因となります。

【12】4段ろ過ボックスの設置：4段ろ過ボックスは、水に溶けたカルシウムやマグネシウムを取り除くことで、バルダリウムのガラス面への白い汚れ(水シミ)の付着を抑える交換式の吸着システムです。用途の異なる4種類のろ過メディアを段ごとに組み込んで使用します。「バルダリウムフルシステムPRO 600」では、以下の4ステップで水をろ過しますので、各メディアを指定の段に設置してください。
※メディアの漏出を防ぐため、必要に応じて各段の排水口に付属の活性炭スポンジをカットして配置してください。
1段目.[活性炭スポンジ]：水中の浸出物や色を消す活性炭を含むスポンジ型ろ過メディア。
※活性炭スポンジは5枚付属していますが、使用するのは4枚です。残りの1枚は予備またはメディア漏出防止用です。
2段目.[無煙炭]：無煙炭を用いた多孔質ろ過メディア。
3段目.[NAカーボン]：水質を最適に保つための特殊なカーボンろ過メディア。
4段目.[活性アルミナ]：活性アルミナを用いたリンや不純物を吸着して水質を整えるろ過メディア。
※ろ過メディアは、1ヶ月に1回を目安に交換してください。

【13】DOOA スプレーポンプ①の起動(循環・処理水)：DOOA スプレーポンプ①が空回りしないよう、ろ過タンク①の水位を確認し、ストレーナー①が完全に水に浸っていることを確認してください。次に、DOOA スプレーポンプ①のACアダプターを差し込み口に差し込み、起動させてください。起動後は、ろ過タンク①の水位が徐々に下がり、ろ過タンク②の水位が増します。そのため、定期的にろ過タンク①の水位を確認し、ストレーナー①が常に水中にあることを確認してください。必要に応じて水を補充してください。
※DOOA スプレーポンプの空回りは絶対にしないでください。故障の原因となります。
※起動後は、正常に作動しているか、水槽からの水漏れやその他の異常がないかを必ず確認してください。
※必要に応じて、バックチェッカー TH(別売)などを使用して、3連フィルターを通した水の硬度を確認して不純物の有無を確認ください。異常を発見した場合は、すぐにACアダプターを抜き、再度接続や設置に問題がないか確認してください。原因が特定できない場合は、使用を中止してください。安全のために：USB電源アダプターやACアダプターに水滴がかかったり、水がコードを伝って濡れると火災や感電の原因となります。水槽より低い位置の差し込み口を使用するときは、差し込み口より下にコードをたるませドリップループを設けてください。

【14】DOOA スプレーポンプ②の起動(散水)：スプレーノズルを水槽内の適切な位置に固定し、散水範囲を調整してください。その後、DOOA スプレーポンプ②のACアダプターを差し込み口に差し込み、起動させてください。このとき、DOOA スプレーポンプ①も同時に起動し、ろ過タンク②の水位がストレーナー②を下回らないように注意してください。散水が正常に行われていることを確認したうえで、必要に応じてタイマー機能を設定してください。市販のスマートプラグを使用した場合、タイマー設定による自動散水が可能です。指定した時間に自動で散水が行われるよう、設置環境や植物の状態に合わせてスケジュールを調整してください。ポンプ稼働中は、スプレーノズルからの散水状態を定期的に確認するとともに、水が不足しないよう、ろ過タンク①・②の水位をチェックし、必要に応じて水を補充してください。

【15】照明器具の設置：W600に対応する照明器具を設置してください。バルダライトII 600(別売)は、バルダリウムに適した光色で熱帯植物の発色を引き出すLED照明です。タッチセンサスイッチにより光量を3段階で調整でき、育成する植物に応じた照明環境を設定することができます。本製品では、より均一な照明環境を得るため、バルダライトII 600(別売)を2台使用することを推奨します。

【16】レイアウト作業の開始：軟水化を進めている間に、底床素材やレイアウト素材を使用して水槽内のレイアウト作業を進めてください。植物の配置や植栽を行い、バルダリウムの育成環境を整えてください。

バルダリウムフルシステムPRO 600 管理タイムライン (例)	
項目	設定例
バルダライトII 600	8:00～17:00 (9時間/照度 中)
DOOA スプレーポンプ(①循環・②散水)	8:30 / 10:30 / 12:30 / 15:00 / 17:00 / 23:00 (各1分)
サーキュレーションファン40(吸気)	7:00 / 12:00 / 15:00 (各1時間)
サーキュレーションファン40(排気)	8:30 / 10:30 / 12:30 / 15:00 / 17:00 (各1時間)
循環ポンプ	24時間 (常時作動)

※上記は育成環境の一例です。 ※植物の種類や設置環境(温度・湿度・季節)に応じて調整してください。